

セミナー報告

令和6年度 男女共同参画セミナー① 『男もつらいよ ～人生の分岐点は育児と介護～』

令和6年6月22日(土) 10時～12時



講師 馬場 義之さん (NPO 法人ファザーリング・ジャパン九州理事)

【プロフィール】

NPO 法人ファザーリング・ジャパン九州理事

1970 年生まれ、2 男 1 女の父親。

2012 年に会社勤めをしながら、パパサークル「パパラフ」を立ち上げる。毎月パパ同士で子育ての悩みや相談ができる座談会を開催。現在は、小学校 PTA 会長、佐賀県男女共同参画推進審議会委員に参画。

座右の銘は、「子ども以上に私が笑う」

《セミナー概要》

これまでの育児が、介護に役立っているという話を今日はしたいと思います。

長男誕生から二年のある日、妻の突然の家出によって、自分が家事育児をやっているつもりだったことに気づかされました。妻の意見を聞かずに自分勝手に手伝っていたことは、妻が本当にして欲しいことではなかったのです。それ以来、妻との向き合い方を少しずつ変え、コミュニケーションをとり、妻のよき理解者であることを心掛けました。男性にとっての育児の重要性は、母親の育児ストレスが軽減され、夫婦関係が強まり、父親自身の世界が広がり、人生が楽しくなることです。

今や人生 100 年時代です。仕事以外で「やりたいこと」「やるべきこと」をやりませんか。私にとってはそれが育児でした。育児を通じて地域に仲間が増え、仕事で有効な能力も身につき、育児によって自分の生きる価値を見出せました。

50歳で父親の死に直面した時、もし育児を経験していなかったら、母親と同居して自宅と実家の二重生活をすることでクタクタになり、子ども達には寂しい思いをさせていたと思います。

職場で、申し訳なさそうに、介護のために休んでいいかと聞いてくる上司に「奥さんは？」などと聞かず、快く「どうぞ」と言えるのは、子どもが熱を出した時に早退した経験があるからです。

私が介護をする上で大事にしていることは、人が一番幸福を感じる自己決定です。介護は子育てと反対で、出来なくなることが多くなります。全部やってあげるのではなく、自分でやりたいことを選択し、決定してもらっています。「自分がこうしたい!!」という気持ちが大事です。そして、「出来ないことを叱るより、出来ることを認めてあげる」少し認知症がある母に、私はそのように接しています。

若い人達が、一人、二人、三人と子どもを持ちたいという世の中になるように、社会に、男性が子育てすることの楽しさを情報発信することが、今後私がやっていきたいと思っていることです。と結ばれました。

<受講生の感想> ※一部抜粋

- ・昨年も参加して感動して、馬場さんの父親として、人間としての素晴らしさにリスペクトしていました。今回のお話も、自分の体験を通じて相手の気持ちに心を寄せ、自分に無理することなく出来ることを誠心誠意実践していくことの大切さを教えて頂きました。娘さんが同席されていたので、いい親子関係を築いておられることが分かりました。見習いたいです。貴重な資料ありがとうございました。
- ・こんなに、家庭、育児を大切に生きていこうとする男性に巡り合ったことがないです。私の年代では考えられない育児感です。こんな人と人生を共にできていたら、もっと幸せだっただろうなあ～と思いました。話し合っ、価値観を共有できる時代に変化しているという期待が持てます。深い愛を感じる講義でした!!
- ・育児参加しているお父さんの様々な思いや立場などを客観的に分りやすく見ること、聞くことができました。「自己肯定」が幸福を感じるということも今後の家事育児において、知ることができたことは、いつかの糧に必ずなると思いました。どの年齢においても選択の自由は大切だと思いました。こっちが用意した方が早く、楽とかおもうことが多々ありますが…
- ・私は、もう子育ては終わっていますが、今娘二人が母親になってよく実家にやってきます。昔より沢山話をするようになりました。親子がどうあればいいのかとても参考になりました。主人も仲間外れにならず一緒に会話を楽しんでいます。今日のお話を聞いて、これまでの生き方で良かったんだと思えました。
- ・私たちの世代は、父親は全く家事には参加しない時代であり、子どもとの遊びは積極的だったと思う。今の若い世代に聞いて欲しい講演内容でした。良かったと思います。長男さんが不登校になった理由をお聞きしたかったです。
- ・「自己決定」が幸福になる要因は納得しました。人生 100 年時代。子孝行のつもりで頑張るって生きていきます。とってもいいお話でした。
- ・父親についての色々な問題を知ることができて良かった。私にも三人の子育て中の子どもがいますが、大変だと聞いています。色々な話をきけてよかったです。
- ・私の子育ての時代は、バブル真っ只中だったので、夫が育児に参加するなどほとんどなかったけど、それを悔やんだことはなかったと思います。しかし、子ども達とは忙しいながらも少しの暇を見つけては、よく遊んでくれたように思います。
- ・子育て中の息子に聞いて欲しいことが、たくさんありました。我々の時代と違って、今のママさんたちは恵まれているなとつくづく思いました(昔は、母親が主で子育てしてましたから)これが古い考えなんですけどね。
- ・「父親になる」「父親をする」ということ、本当にそうだと思います。父親が楽しく育児をした結果、介護につながっていくのだなど。
- ・現実はまだ厳しいですが、こういったセミナーを聞くと希望が湧いてきます。いいお話ありがとうございました。